

平成20年4月7日

日清紡績株式会社
取締役社長 岩下 俊士

環境保全活動への取り組みについて

弊社の環境保全活動の取り組みについては、今般の古紙パルプ配合率問題に関連して、既に3月4日にご報告申し上げておりますが、今回古紙パルプ乖離量の調査結果と、環境保全活動に関する追加の施策を、下記に取り纏めご報告申し上げます。

記

1. 古紙パルプ乖離量

古紙パルプ配合率に関して公称と実態との乖離がある紙製品（以下「当該製品」と称す）全てについて、古紙パルプ配合率の公称と実態との差から古紙パルプ乖離量を試算いたしました。「当該製品」の乖離が生じた時期（平成7年7月）から平成20年1月の生産を中止するまでの約12年半の古紙パルプ乖離量は、次の如くになります。

「当該製品」の古紙パルプ乖離量： 約9千t（年平均750t）

2. 環境保全活動

弊社としては、環境カンパニーとして成長し社会に貢献するべく、今後も独自の地球環境保全活動を総合的かつ積極的に推進いたします。これにより循環型社会への貢献、森林資源の保護、CO₂排出低減による地球温暖化防止などに貢献してまいります。

（1）環境配慮型商品の展開

① 古紙パルプ使用の促進

古紙パルプ配合商品を拡充すると共に、古紙パルプ配合商品の製造技術の向上により古紙配合率を高め、古紙パルプ使用の拡大に取り組んでまいります。

再生紙の拡充と継続的生産を通じて、今後共リサイクルシステムの一部にも貢献させて頂きたいと考えております。

② FSC森林認証商品の拡充

弊社では、従来より原料産出地の法律・規制を遵守し適切に管理された木材パルプを使用してまいりました。

今般、F S C（森林管理協議会）の趣旨に賛同し、当協議会の認証を取得いたしました。今後、持続可能な森林から適切な管理の下で伐採された森林材を原材料として製造した商品を、F S C森林認証商品として重点的に拡充して行くことで、森林資源の保護に貢献してまいります。

F S C森林認証商品は昨年より上市し販売量は現状50 t/月になりますが、今後徐々に増やし2008年度には200 t/月へ拡大させて行く計画であります。

(2) ボイラー燃料転換などによるCO₂削減

弊社では、これまでボイラー用燃料として重油から液化天然ガスなどへの燃料転換を行い、温室効果ガス（CO₂）削減を推進してまいりました。また原料製造工程で発生する廃棄物（ペーパースラッジなど）をボイラー燃料としてサーマルリサイクルし、環境負荷の低減を図ってまいりました。今後、更に重油から液化天然ガスなどへのボイラー燃料の転換を検討してまいります。

(3) 「緑の募金」への協賛

弊社では、社団法人 国土緑化推進機構ほかが進めている「美しい森林づくり推進国民運動」と連携した「緑の募金」に協賛することを決めました。この活動への寄付を通じて、災害跡地での森づくりや地球温暖化の防止に向けた森づくりを支援させていただきます。

弊社としては、上記の取り組み以外に、太陽電池モジュール製造設備、燃料電池セパレータ、電気二重層キャパシタなど、環境貢献技術に取り組んでおります。

以上